

Takasago

社協だより



217号

主な内容

- P3 自分でできる防災対策
- P4 生活福祉資金貸付制度
- P6 高砂市ファミリーサポートセンターです
- P8-9 小地域福祉活動の紹介
- P10 善意銀行寄附状況

平成22年9月1日発行 社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会

編集・発行 高砂市高砂町朝日町1-2-1福祉保健センター内
電話 079-443-3720 FAX 079-443-0505
ホームページ <http://www.takasago-syakyo.or.jp/>



みんなで築こう 安心と活力ある長寿社会

9月15日から21日は「老人週間」です。

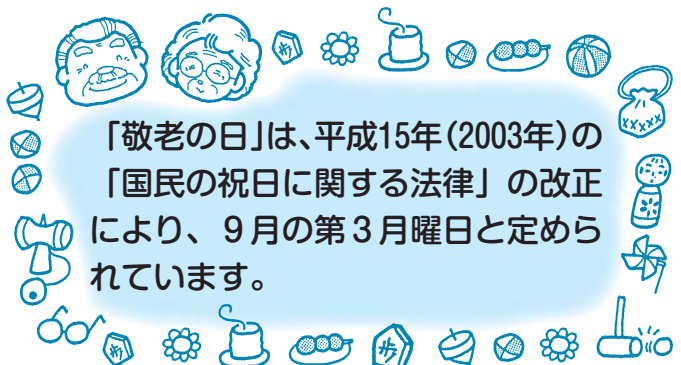
生きがい対応型デイサービスセンター 季節行事
わくわくフェスタ 「よさこい鑑賞会」



9月15日は
「老人の日」



▲歩こう会 (老人クラブ連合会の活動)



「敬老の日」は、平成15年(2003年)の「国民の祝日に関する法律」の改正により、9月の第3月曜日と定められています。

▲生きがい対応型デイサービスセンター 行事
地域出前型茶話会 「阿弥陀公民館」

特集

登録ボランティア団体紹介

おはなしのポケット高砂

vol.32

基礎データ	☆設立年月	平成15年4月
	☆会員数	20名
	☆定例会	月1回(勉強会も兼ねる)
	☆代表者	石盛明子



Q 発足のきっかけは何ですか？

A 高砂市立図書館主催の「ストーリーテリング（お話）講座」を受講した有志により、平成15年4月に図書館ボランティアとして発足しました。しばらくはそこを中心に活動していましたが、地域にも目を向け幅広く活動していくために、平成18年4月にボランティアセンターに登録しました。



Q どのような活動をされていますか？

A 主に絵本の読み聞かせや昔話等を語る活動をしています。①図書館（第1、第2土曜日）、②中央公民館（第1、第2土曜日）、③子

育て支援センター（月1回）では、絵本の読み聞かせや手遊び、お母さんからの相談に対応しています。④高砂市の「放課後子ども教室」が行われている4校の小学校に出向いています。他、保育園や幼稚園、学童保育からの依頼に対応しています。

また昨年度からは、このような活動やボランティア活動への理解を深め、一緒に活動してもらえる仲間を増やす目的で、「おはなし会ボランティア講座」を開催しています。

Q グループ活動の魅力は何ですか？

A 一冊でも良い絵本や昔話の楽しさを多くの子どもに伝えられることです。また活動を通しての悩みや課題について、一人ではくじけてしまうことでも、グループだと情報交換や相談しながら進

められることです。そして月1回の勉強会は、それぞれのモチベーションを高め、持続していくことに繋がっています。

Q 今後やってみたい活動や夢はありますか？

A 他市の小・中学校の授業において、絵本や良書に触れ、豊かな心を育む目的で、「お話を聞く時間」として取り組まれているところが多くあります。高砂市においても、そのような活動ができればと思っています。

またブックスタート（赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃん」と絵本を楽しむ時間の大切さ）を伝えながら、絵本を手渡す運動）の活動を始めようと検討中です。

Q みなさんへのメッセージをお願いします。

A 絵本は、子どもだけでなく大人も楽しめ心豊かにしてください。また子どもと共有できる素敵な時間です。是非、図書館や公民館に足を運んでください。





—災害に備えて— 「自分でできる防災対策」

多発する自然災害。いつ、どこで起こるかわかりません。
いざという時のために、次のようなことを日頃から備えておきましょう。

① 家族で防災会議をしよう

避難場所や避難方法の確認、離ればなれになったときのお互いの連絡方法(171災害用伝言ダイヤル等)を普段から確認しておきましょう。

③ 非常持ち出し品を用意しよう

いざというときは、ただちに避難しなくてはなりません。また災害規模によっては、市民のみなさんだけでなく行政も被災します。飲料水や食料などの支援物資がすぐに届かないかも知れません。そんなときに備えて、3日分を目安に非常持ち出し品を常備しておきましょう。

② 地域の防災訓練に参加しよう

地域で行われる防災訓練には積極的に参加しましょう。いざという時のために地域の人たちとコミュニケーションを深めながら、避難経路や初期消火方法など確認しておきましょう。

④ 家の危険箇所をチェックしよう

家の中ではどこが安全か、また危険なところがないかチェックしましょう。家具は地震で倒れないよう留め金などで固定して転倒防止を行ったり、食器棚などのガラスにはガラス飛散防止用フィルムを貼りましょう。

チャレンジ! ジュニアボランティア2010



～こんな行事がありました～

夏休み期間を利用して小中学生を対象に、様々な体験を通して福祉やボランティア活動への理解を深めることを目的に「チャレンジ!ジュニアボランティア2010」を3日間開催しました。

〈参加者の感想〉

*中国語とポルトガル語は発音が難しかった。中国の人やブラジル人は勉強して日本語を覚えていてすごいと思った。

(～外国語の絵本を作ろう～より)

*演技をして、はく手が多かったりよるこんでもらえたのでうれしかった。

(～マジシャンになって舞台に立とう～より)

～ 活動体験 ～

7月25日(日) 外国語の絵本を作ろう (参加者15名)

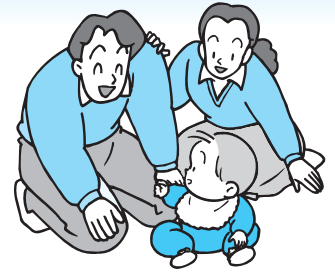
7月29日(木) エコロジー体験と工場見学 (参加者12名)

8月4日(水) マジシャンになって舞台に立とう (参加者10名)



生活福祉資金貸付制度

この貸付制度は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その自立を支援し、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした制度です。



資金の種類

貸付の種類	対象・内容など
福祉資金	低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯が、日常生活を送る上で一時的に必要と見込まれる費用として（福祉費）、または緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯に貸付する制度です（緊急小口資金）。
教育支援資金	低所得世帯を対象に、高等学校、大学（短大及び専修学校を含む）等に就学するために必要となる経費に対して貸付する制度です。 <ul style="list-style-type: none"> ・就学支度費；入学費、教材費、制服代など ・教育支援費；授業料、通学費、修学旅行積立金など
総合支援資金	失業や減収などにより日常生活全般に困難を抱えている世帯の生活再建に必要な費用として貸付する制度です。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援費；生活費用 ・住宅入居費；住宅の賃貸契約を結ぶための初期費用 ・一時生活再建費；生活を再建するために一時的に必要な費用
不動産担保型生活資金	一定の居住用不動産を有する高齢者世帯または要保護高齢者世帯に、その不動産を担保として生活費を貸付する制度です。

対象世帯

- 高砂市にお住まいの
- ◇低所得世帯（市民税非課税程度）
- ◇障がい者世帯
- ◇高齢者世帯

必要な条件

- ◇原則として連帯保証人を立てられること
- ◇計画的な償還（返済）の見込みがあること
 ※慢性的に生活費が不足しており償還の見込みがない世帯や、今後も収入の見通しが立っていない世帯、多額の負債を抱えている世帯等は対象となりません。

お申込みにあたっての注意事項

- ◇原則として、申込・貸付・償還（返済）において担当の民生委員が関わり援助指導を行います。
- ◇申込みから貸付審査を終えるまで通常1ヵ月程度を要します。
- ◇この制度は、実施主体である兵庫県社会福祉協議会において貸付審査を行いますので、審査上貸付できない場合があります。

申込み・相談窓口

高砂市社会福祉協議会
（生活福祉資金担当）
TEL 443-3720

生きがい対応型デイサービスセンターだより

●生きがい対応型デイサービスセンターとは…

高砂市より高砂市社会福祉協議会が委託を受け、自立生活の助長、社会生活の孤独感の解消、寝たきりの予防を図り、生きがいを持って社会生活を送るための憩いや交流を行うところです。

●おおむね60歳以上で高砂市に住所を有し、介護保険サービスを受けていない方が利用できます。

●利用の登録が必要です。

9月の定例行事

申込締切：いずれの行事も、3日前まで

午前

1日(水) 絵手紙 10:00～

3日(金) いきいき体操 10:00～

13日(月) うたの会 10:00～

17日(金) 折り紙 10:00～

午後

14日(火) 囲碁ボール 13:30～

囲碁・将棋の開催日

3日(金)・10日(金)・17日(金)

24日(金)・27日(月)

*毎回13:00開始

わくわくフェスタ 「輪投げ大会」

日時：9月8日(水) 14:00～15:45

場所：中央公民館 3階 講堂

実費：250円

定員：40名

申込締切：9月2日(木)

おしゃべり会

おしゃべりと可愛い小物作りをします。

日時：9月22日(水) 13:30～15:00

実費：200円 定員：20名

申込締切：9月13日(月)



問合せ・申込み

生きがい対応型
デイサービスセンター

高砂町東浜町 1266-1

電話：444-3030



曾根公民館

日時：9月28日(火)
10:00～11:45

場所：曾根公民館
2階 講堂

実費：150円

申込締切：9月21日(火)

地域出席型茶話会

60歳以上のおみなさんの交流会

わきあいあい 茶ロン

中筋公民館

日時：9月30日(木)
14:00～15:45

場所：中筋公民館
2階 集会室

実費：150円

申込締切：9月22日(水)

高砂市ファミリーサポートセンターです!

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が「依頼・提供・両方会員」となり、お互いに助け合いながら地域の中で子育ての相互援助活動を行っています。
みなさんもファミリーサポートセンターの会員になりませんか?

第3回交流会

ファミサポ 運動会

みんなで体を動かして楽しく遊びましょう!

ボランティアグループ「スイートピー」さんと親子体操をしたり、ゲームをしたり、お楽しみがいっぱい♪たくさんのご参加、お待ちしております。

〈日時〉9月29日(水) 10:00~11:30

〈場所〉高砂市文化会館 1階 展示集会室

〈対象〉ファミリーサポートセンター登録会員

ファミリーサポートセンター

に関心のある方

〈締め切り〉9月27日(月)



第4回入会説明会

子育て中に子どもの送迎や預かりをお願いしたい時はありませんか?(登録は無料です。)

ぜひ、この機会に説明会にご参加ください。

〈日時〉10月16日(土) 10:00~11:30

〈場所〉福祉保健センター3階 会議室1

〈対象〉子育ての援助を受けたい方

(高砂市内在住または在勤の方で、おおむね生後6ヵ月から小学校6年生のお子さんがおられる方)

〈託児〉定員10名

(対象: 6ヵ月以上の子ども)

〈締め切り〉10月14日(木)



第2回提供・両方会員養成講座

子どもが好きな方、子育て経験のある方、子育て支援やボランティアに関心のある方、ぜひ力を貸してください! 3日間の養成講座を受講後、会員登録していただけます。(1講座からの受講もOKです。)

日	時間	内容
10/19 (火)	9:15~10:00	ファミリーサポートセンターとは
	10:05~11:35	緊急時の対策と応急処置
10/21 (木)	13:30~14:15	子どもの心と身体の発達
	14:20~15:10	子どもの生活と遊び
10/27 (水)	9:15~10:00	子どもの安全と病気
	10:05~11:05	提供会員として活動するために

〈場所〉福祉保健センター3階 会議室1

〈対象〉高砂市内在住の方

〈定員〉30名

〈託児〉定員10名

(対象: 1歳6ヵ月以上の子ども)

〈締め切り〉10月15日(金)



~おもな活動内容~

- 学童保育への送迎と預かり
- 産前・産後の上の子の預かり
- 保育園・幼稚園の送迎と、前後の預かり
- 休日出勤の時の預かり など

申込み・問合せ先

高砂市ファミリーサポートセンター
TEL 079-442-0555
FAX 079-444-3031

更生保護

って何だろう

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

裁判員制度が平成21年5月に始まりました。一部新聞報道によると、裁判員の方々が「判決後よく思い出すこと」として「被告人の更生について」を一番多く挙げています。

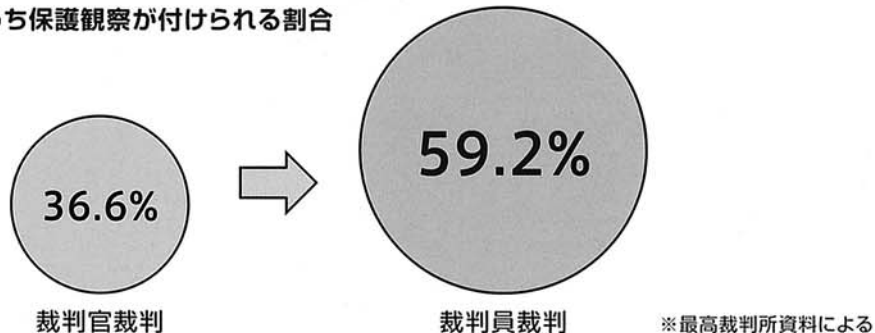
さて、みなさんは「罪を犯した人の更生について」「立ち直りを支えることについて」どのように思われますか。



裁判員裁判では、「保護観察付執行猶予」という判決が多く出されています。これは、法廷で被告人と向き合った裁判員の中に、「被告人ひとりではなく、社会の中で様々な人と関わりながら指導や助言を受け反省し立ち直してほしい」という声があったからではないでしょうか。

犯罪や非行をした人のほとんどは、いずれは社会に帰ってきます。彼らが自らの過ちと真摯に向き合い再び犯罪に手を染めないよう、その立ち直りを支える制度が「更生保護」なのです。

■執行猶予判決のうち保護観察が付けられる割合



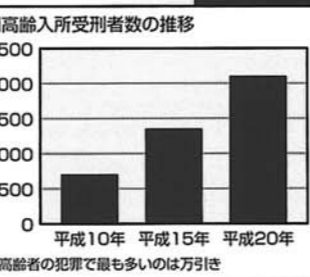
地域にお住まいのみなさんにも、犯罪や非行をした人の立ち直りについて、身近な問題としてとらえ、一緒になって考えていただきたいのです。

更生保護女性会(約190,000人)

更生保護施設へのサポート活動、子育て支援活動など、幅広い活動を展開し、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の立ち直りを支援するボランティア団体です。



※地域住民を対象としたミニ集会以非行問題を話し合う



※平成21年版犯罪白書による

地域みんなで支えることで、この街自体も良い方向に進んでいけばと思います。

更生保護施設(全国104施設)

犯罪や非行をした人のうち、帰る場所のない人たちに対して宿泊場所や食事の提供、生活の相談、就労の支援、社会生活に適応させるための指導等を行っています。

■更生保護施設退所後に求める支援

項目	該当人数
相談先の確保	169
安定した就労	134
技能・資格の取得	134
信用できる友人の確保	122
制度やサービスの手続き	119
家族調整	103

※東京社会福祉士会資料による



警察
(犯罪をした人、非行少年)

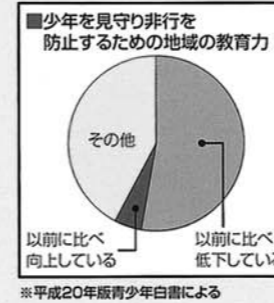
裁判所 ← 検察庁 → 家庭裁判所

実刑 ↓ 保護観察付執行猶予 ↓ 保護観察 ↓ 少年院送致 ↓

刑務所 ↓ 少年院 ↓

仮釈放 ↓ 仮退院 ↓
保護観察所
保護観察

犯罪や非行をした人が、地域の中で生活しながら、国家公務員である保護観察官や地域のボランティアである保護司の指導・助言を受け、立ち直りを図ろうとする制度です。保護観察の期間中は、保護観察官や保護司と定期的に面談を受け生活状況を報告したり、転居の際には保護観察所長の許可を得る等の約束を守る義務があります。



※平成20年版青少年白書による



自分も昔、たくさんの人に助けてもらったからね。

BIG BROTHERS AND SISTERS MOVEMENT BBS会(約4,500人)

様々な問題を抱える少年と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、少年が健全に成長できるよう支援し、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティアです。

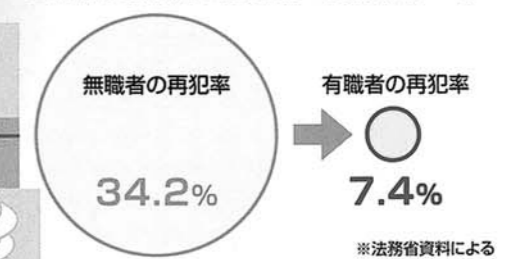


※保護観察中の少年に対する学習支援

協力雇用主(約8,500人)

保護観察中の人を前歴にこだわらず積極的に雇用することで、その立ち直りに協力する民間の事業者です。

■有職者と無職者の再犯状況の比較(平成21年)



立ち直りを支える地域のチカラ

更生保護の活動は、関係者だけではなく、

多くの方々のチカラが必要なのです。皆さんのご協力をお願いします。

その他地域の方々による協力

犯罪や非行をした人の立ち直りには、多くの方々にご協力いただいています。

例えば、「社会参加活動」は、保護観察中の人を福祉施設での介護、公園での清掃活動、畑での農業体験等に参加させ、社会性の発達を促すもので、福祉施設の職員さんや農家の方など、様々な方々に関わっていただいています。



保護観察を受けていた人の声 ～保護司への手紙～

今だから先生へ

僕が先生と最後に会ってからもう十二年が経ちますね。十五で初めて会って、僕が十九で結婚するまでの四年間。あの当時のことを、今ゆっくり思い出しています。

保護司という立場の先生を当時不良少年の僕は、何回裏切り嘘をつき、平気な顔をしてきたか。そして最大の裏切り。

また、逮捕された。

保護観察中なのに、教え子が逮捕。そして少年院送致。

先生にしてみれば、ホント大変な教え子だったと思います。その僕がどうしても伝えたいことがあります。

今僕はまっすぐ生きてます。何度も辞めるなど言われた仕事は何とか続け、今小さい工務店を営んでいます。早い結婚でしたが、子供三人に恵まれ、苦労もありますが賑やかな家庭を持つことができました。今多くの人の支えの中、幸せに生きています。

でも、先生は天国へ逝ってしまいました。

先生に聞いて欲しかった。こんなにも頑張れたことを。褒められたかった、嘘だとわかっていても褒めてくれたように。見たかった、先生のあの喜ぶ顔を。

どんなことが起きても揺るがない、人を信じる心。それを裏切ったときの心の痛み、それこそが先生の一番教えたかったことだと思っています。そしてそれを受け継いでいくということが、少しでも恩返しになると思います。

先生へ ずっと言えずじまいでしたが、

本当にありがとうございました。先生は僕の自慢の最高の恩師です。

※社団法人 白根青年会議所 機関紙より

誰か支える人がいれば、立ち直りへと歩み続けるチカラとなります。
皆様のご協力をお願いします。

■更生保護についてのご質問、お問い合わせはこちらまで。

神戸保護観察所

〒650-0016 兵庫県神戸市中央区橘通1-4-1

TEL 078-351-4004

■法務省保護局（平成22年6月）

〒100-8977 東京都千代田区霞が関1-1-1

電話 03-3580-4111

ホームページアドレス <http://www.moj.go.jp>

人はみな、
生かされて
生きてゆく。



更生保護ネットワーク

<http://www.kouseihogo-net.jp/>

法務省では、犯罪や非行防止と罪を犯した人の立ち直りについて理解を深めるため「社会を明るくする運動」を展開しています。皆さんも地域の行事に参加してみませんか。

「介護者のつどい」を開催しました

地域包括支援センターでは

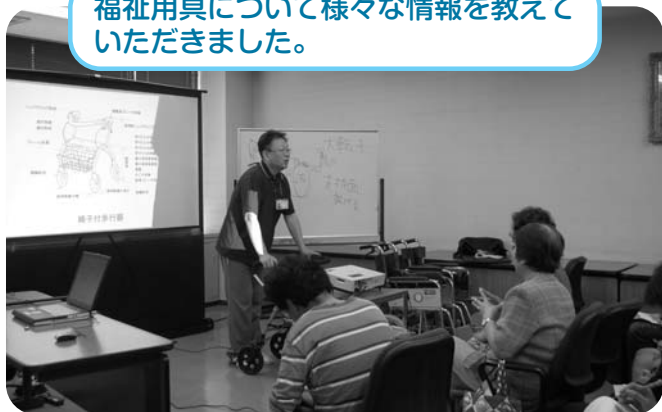
- ☆介護に関する知識、技術の提供
- ☆介護・医療・福祉サービス活用への支援
- ☆市民の皆さんへの介護や福祉の意識についての啓発
- ☆介護者のリフレッシュを図ること

を目的として、介護・医療・福祉に関する様々な内容を学ぶ機会を設けています。



今年度、第1回目の「介護者のつどい」は、平成22年7月23日(金)に高砂市福祉保健センターにて幸生リハビリテーション病院 理学療法士 岡 英世先生より「知って得する福祉用具」について、実技を交えながらお話を伺いました。

福祉用具について様々な情報を教えていただきました。



皆さん熱心にお話を聞かれていました。



どなたでも
参加できます!!



～参加された方の感想、意見～

- 杖ひとつにしても、いろいろあるということや車椅子の選び方など大変役に立ちました。
- いろいろな補助器具を借りられることが分かりました。
- 実際に補助器具を見て体験し、とても分かりやすく学ぶことができました。
- 同じようなテーマでまた企画して欲しいです。

地域包括支援センターでは、今後も定期的に「介護者のつどい」を開催します。開催につきましては、社協だよりなどでお知らせします。

また、今後取り挙げてほしい内容などありましたらお気軽にご連絡下さい。

問合せ

高砂市地域包括支援センター
TEL 443-3723

中 筋

◆ 中筋校区「総会」

6月4日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明しました。

◆ 中筋東部会「いきいきサロン」

6月26日は、初めていきいきサロンを開催し、「浪花の恋の物語」のビデオを見た後、談笑しカラオケをして、大変盛り上がりました。

米 田

◆ 米田町「総会及び研修会」

5月23日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明し、市高年・障害福祉課課長による高齢者福祉制度についての話を聞きました。

◆ 米田部会「けやきサロン」



6月20日は、よさこい踊りを見て、元気をもらった後、「世界の旅 ドイツ編」のビデオを見ました。

◆ 塩市部会「いきいきサロン」

6月20日は、ねらってぼんゲームをして、簡単なようでなかなか点が入らず2時間十分楽しみました。

◆ 高砂アーバン部会「ふれあいサロン」

6月25日は、昼食をおいしくいただいた後、おしゃべりとカラオケで賑やかに過ごしました。

◆ 中島三丁目部会「いきいきサロン」

5月30日は、「シューシャインボーイ」のビデオを鑑賞し、6月17日は、銅版工芸の2回目を開催し、基本的な作品作りに励みました。



北 浜

◆ 北浜町「総会」

6月5日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明しました。

◆ 北脇部会「つたの会」

6月19日は、喫茶を開催し、新しい参加者も増え福祉委員と参加者のコミュニケーションも図れ和気あいあいと楽しみました。

阿 弥 陀

◆ 阿弥陀町「総会及び研修会」

5月29日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明した後、社協事務局長補佐による「小地域福祉活動について」の話を聞きました。

◆ 西下台部会「やすらぎ会」

6月21日は、高齢者の健康づくりの講座を開催し、終了後、参加者が思いおもいにストレッチ体操をしました。



◆ 北池部会「なかよし会」



7月9日は、折り紙でこまを作り、少々男性の方は戸惑ってましたが、できあがった時は「よく回る」と喜ばれ、お孫さんのお土産にと持って帰られました。

◆ 生石部会「かたつむりの会」

6月18日は、「綾小路きみまろ」や「人間ゆうゆう」のビデオを見た後、懇親会をしました。



◆ 魚橋南部会「いこいサロン」

6月12日は、喫茶モーニングの後、ハンドベル演奏を聞き、全員でハンドベルを持って演奏をし、歌い、大喜びで終わりました。

◆ 魚橋北部会「ふれあいサロン」



6月24日は、ビンボーリングとおじゃみとりゲームをし、皆初めてなので1人ずつ練習をし、緊張しなかなかうまくいかず大笑いしたり拍手をしたり大変楽しい一日でした。

◆ 魚橋山ノ端部会「いきいきサロンはな」

6月21日は、折りずもう大会を開催した後、ゲームルールをし、お茶とお菓子で笑いを取りながらよくしゃべりました。7月5日は、七夕の飾りや、折り紙で切り絵を作った後、認知症の方との関わり方を勉強しました。

荒井

◆ 荒井町「総会及び研修会」

6月29日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明した後、社協事務局長による「社協とは」の講演を聞きました。

◆ 蓮池部会「ゆうあい訪問」

6月24日は、安否確認を兼ねてゆうあい訪問を行いました。

◆ 東本町部会「さくらの会」

6月9・23日はカラオケの練習、16日は、初めてお茶とお菓子でおしゃべりを楽しむつどいを開催し、参加者が少なかったため次回はPRに努めたいと思いました。7月1日は安否確認を兼ねてゆうあい訪問を行いました。

◆ 小松原部会「いきいきサロン」

6月19日は、綾小路きみまろなどのビデオ鑑賞を楽しんだ後、そうめんといなり寿司をおいしくいただきました。

◆ 緑丘部会「いきいきサロン」

5・6月もおしゃべり会と書道教室を開催し、6月12日は、高砂西部病院看護師による健康講演研修会・食事会を開催し、高齢者の健康管理について学びました。



◆ 若宮町部会「小物づくり」



6月6日は、スープフラワーや人形作りをし、みんな楽しく製作した完成品を前に満足気な表情でした。

◆ 小松原団地部会「こまだんいきいきサロン」

6月23日は、高砂西部病院医師による骨粗しょう症についての話を聞いた後、血圧・血管硬さ測定を行いました。



伊保

◆ 伊保東部部会「ふれあいのつどい」



7月7日は、七夕まつりを行い、短冊に思いをこめて読み上げると、名文あり、珍文ありで会場は大爆笑でした。

◆ 伊保中部部会「ふれあい会」

6月28日は、高砂西部病院栄養士による高齢者の食事についての話を聞いた後、くず桜を食べておしゃべりを楽しみました。

◆ 伊保南部部会「ふれあい・いきいきサロン」

5月27日は、会食会を開催した後、民謡クラブの三味線に合わせて民謡を合唱し、フラダンスもあり、大賑わいで笑いに包まれました。6月19日は、「邦楽を楽しもう」をテーマに、琴や三味線の伴奏で民謡を合唱し大いに盛り上がりました。



◆ 中島部会「ふれあいの集い」

7月3日は、七夕まつりとバランスボール、食事、ビンゴゲーム等で楽しみました。

◆ 梅井部会「梅の井サロン」



7月6日は、色紙等で飾りをつくり短冊に願いをこめ笹の枝に飾りつけた後、童謡やナツメロを合唱して盛り上がりました。

曽根

◆ 曽根町「総会」

6月28日は、総会を開き、平成21年度の事業報告や決算報告、平成22年度の事業計画や収支予算について説明した後、社協事務局長補佐による「地域福祉の推進について」の話を聞きました。



善意銀行寄附状況



～あたたかい善意をありがとうございました～ 2010.7.1～7.31

※敬称略

地区	氏名	金額 (円)	備考
高砂町	匿名 名	10,000	地域ふれあいの会高砂駅前ブロックへ5,000円 福祉のために5,000円
	玉野 俊行	2,000	福祉のために
荒井町	匿名 名	3,000	車いすのお礼として
	高砂市教職員有志青松会	53,006	福祉のために
	荒井小学校	26,864	善意の日の募金として
伊保町	匿名 (伊保崎)	5,000	福祉のために ※郵送
中筋	匿名 名	10,000	車いすのお礼として
	匿名 名	5,000	車いすのお礼として
曾根町	Q	1,198	管理しているサイトの参加人数に応じてのチャリティー募金
米田町	匿名 名	10,000	7月分 福祉のために
	匿名 名	10,000	7月分 福祉のために
阿弥陀町	阿弥陀小学校	22,210	善意の日の募金として
	匿名 名	1,000	福祉のために
	阿弥陀さんば工房	2,000	福祉のために
その他	心のうたナツメロ大行進	61,140	チャリティー募金として

物品預託の状況 (※敬称略)

匿名 スリッパ12足

古切手・使用済みカード・ベルマーク等 (※敬称略)

高砂商工会議所	阿弥陀小学校
鹿島興産(株)	高砂市文化会館
山陽電気鉄道株式会社	(株)池田
高砂市役所福祉部地域福祉課	FU技研(株)
高砂市役所健康市民部市民課	(株)優和
松尾 武・三知子	松岡 道男
木谷 博雅	百元 和夫
匿名	



△阿弥陀小学校



△荒井小学校



高砂市善意銀行では、皆様方の尊い善意の気持ちを、金銭や物品としてお預かりし、社会福祉施設や在宅福祉の充実を願っている人たちのために、そして、ひろく福祉のまちづくりをすすめていくために、活用していくという、「善意の橋渡し」の活動を行っています。

～善意のかたちいろいろ～

- 香典・祝儀等のお返し(満中陰志)にかえて
- ボランティア活動のかわりに
- 会社や団体の記念行事等の経費の一部
- チャリティバザーの収益金等
- 買い物やおこづかいの残り
- アルミ缶回収運動の収益金
- 一円募金、お年玉募金



ハローワーク加古川 障がい者就職面接相談会

加古川公共職業安定所主催

～開催日時～

平成22年 9月28日(火) 13:30～16:00

～開催場所～

加古川プラザホテル2階(鹿児の間)
加古川市加古川町溝之口527

～問合せ先～

加古川公共職業安定所
TEL 079-421-8638

ボランティア入門教室 子育て応援ボランティアはじめの一歩

～地域で子育て中の親子を応援する
ボランティアとして活動しませんか～

日時・内容

回	日時	内容
1	9月13日(月) 10:00～12:00	「子育てボランティアってどんなの？」 ～子どもの生活や遊びについて知ろう!!～
2	9月15日(水) 10:00～12:00	「親子のふれあい遊びや読み聞かせ体験」 ～おはなしルームで絵本の読み聞かせに 参加してみよう～
3	9月16日(木) 10:00～12:00	「子育て中の親子といっしょに楽しく遊ぼう」 ～つどいの広場に参加してみよう～

場 所：子育て支援センター
対 象：子どもが好きな方、ボランティア活動
に関心のある方 10名
参加費：無料

要約筆記ボランティア養成講座

～耳の不自由な方に、言葉を文字に変えて
情報を伝えるサポーターになりませんか～

期 間：10月7日(木)～11月25日(木)
毎週木曜日 10:00～12:00 (全8回)
場 所：福祉保健センター 3階 会議室1
対 象：ボランティア活動や要約筆記に関心
のある方 15名
参加費：500円
※テキスト代1,000円(別途必要)

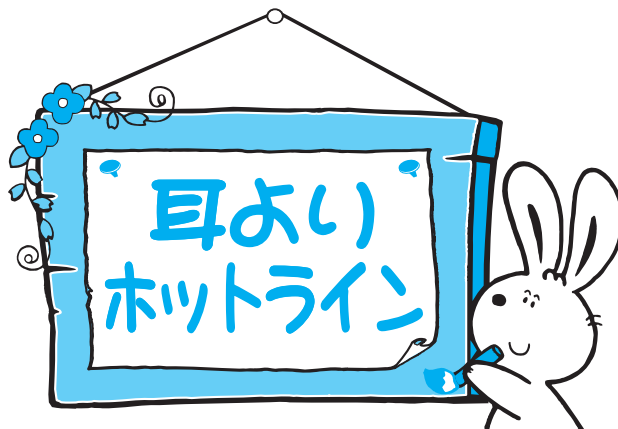
朗読ボランティア養成講座

～目の不自由な方に、あなたの声でひとつでも
多くの情報を届けませんか～

期 間：【入門コース】(全3回)
9月15日(水)～9月29日(水)
【初級コース】(全10回)
10月13日(水)～平成23年1月19日(水)
各コースとも毎回水曜日
10:00～12:00
場 所：福祉保健センター 2階 視聴覚障害者室
対 象：ボランティア活動や朗読に関心
のある方 15名
参加費：1,000円
※入門コースのみの方は300円

申込み・問合せ先

高砂市ボランティアセンター
☎ 442-4047



～認知症の理解を深め、
サポーターの輪を広げませんか～

認知症サポーター養成講座

～認知症の人をかかえる家族の会「いるかの会」～

日 時：9月27日(月) 13:30～15:30
場 所：阿弥陀公民館 2階 会議室
内 容：講話やDVDを通して、認知症に対
する理解とサポーターの役割を学びます
講 師：CHIAKIほおずき高砂
施設長 小林宗之氏
対 象：認知症に関心のある方 20名
締 切：9月21日(火)

申込み・問合せ先

高砂市社会福祉協議会
☎ 444-3020

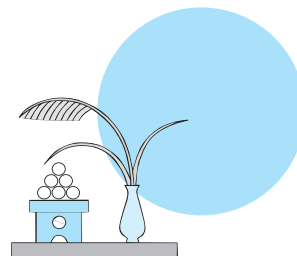
～家族の介護をされている方、一緒に悩みを分かち合い
共感し合える仲間と交流しませんか～

高砂市支え合う介護者の会 「すずらんの会」

日 時：9月22日(水) 13:30～15:00
場 所：福祉保健センター 1階 栄養室
内 容：わいわいがやがや話し合い

申込み・問合せ先

高砂市保健センター
☎ 443-3936





社協活動 目録 写真展

6月～7月

包括支援センター 「介護者のこころ」

7月23日(金) 福祉保健センターにて「知って得する福祉用具」について受講されました。詳しくは11ページをご覧ください。▶



救命講習

7月23・29日の2日間にわたり、AED講習を含む救命講習を開き、職員59名が受講しました。▼



ファミリーサポートセンター

「授・園・食・ア・プ・講座と情報交換会」

7月7日(水)17名が参加しました。「子どもの食事と衛生」、「子どもの遊び」についての講座を受講し、続いて援助活動について情報交換を行いました。

ボランティアセンター

6月28日(月)、福祉教育推進会議を開催し、市内の小・中学校の担当教諭16名が出席され、講演を聞いた後、情報交換を行いました。



まちの福祉活動紹介

～詳しくはP12、13で！～



▲荒井町福祉推進委員会
総会及び研修会 (6月29日)



▲伊保町伊保中部福祉部会
ふれあい会 (6月28日)



▲伊保町中島福祉部会
ふれあいの集い (7月3日)



▲中筋校区中筋東福祉部会
いきいきサロン (6月20日)



▲阿弥陀町魚橋山ノ端福祉部会
いきいきサロンはな (7月5日)



▲北浜町北脇福祉部会
つたの会 (6月19日)